

## JR西日本関係者に対するヒヤリング

2010年4月19日

文責：安部 誠治

## 1. 実施日等

- 実施日：2010年3月8日（月） 於：大阪市内ホテル
- ヒヤリング実施者：柳田邦男、安部誠治
- ヒヤリング対象者：丸尾和明氏、山崎正夫氏、土屋隆一郎氏、望月康孝氏

## 2. ヒヤリング対象者の選定理由

- JR西日本による働きかけ等の期間  
2006年4、5月の連休頃～2007年6月末頃まで
- ヒヤリングの目的  
働きかけを行った目的や働きかけ内容の聴取(不祥事問題についての事実究明を目的)
- ヒヤリング対象者の特徴

対象者	時間	当時の役職	働きかけ内容
丸尾和明氏	10:50～12:05	○副社長・鉄道本部長（2006年6月22日～2008年7月2日） ○意見聴取会対応プロジェクト委員長（2006年9月7日～）	○永瀬氏への働きかけなど
山崎正夫氏	13:00～15:00	○社長（2006年2月1日～2009年8月31日） ○拡大企画会議ヘッド（2006年12月25日～）	○山口氏に接触(情報入手など) ○井口、小野、伊多波氏へ接触
土屋隆一郎氏	15:25～16:30	○福知山線列車事故対策2代審議室長（2006年6月23日～2009年10月23日） ○意見聴取会対応プロジェクト副委員長（2006年9月7日～）	○部下の鈴木氏に対して佐藤委員への接触と情報入手を指示など
望月康孝氏	16:55～17:55	○福知山線列車事故対策審議室勤務 ○意見聴取会対応プロジェクト事務局メンバー ○対応WGメンバー	○宮本氏に接触 ○小野、伊多波両氏に接触

### 3. ヒヤリングの概要

現在、ヒヤリングで明らかにされた個々の事実について検証中。

主な論点についてのヒヤリング対象者の主張・見解は以下のとおり。

#### (1) 今回の不祥事について

- ・社会的には許されない、認められないことをしてしまったと反省している。

#### (2) J R 西日本は何故こうした働きかけや委員等に対する接触を行ったのか

- ・会社としての準備、マスコミ対応や被害者に対する説明の必要などから可能な限り早くスケジュールを知りたかった。
- ・報告書の最終案の提示から会社の意見書の提出までの期間が1週間しかなく、作業時間が足りないことから事前入手を行った。
- ・会社の意見や見解が事故調委員には届いていないのではないかという不安、おそれがあった。

#### (3) 資料の未提出問題について

- ・意図したものではなく、単なるミス。

#### 4. 今後の作業について